

## 地図帳をアトラスと呼ぶ理由（由来）

2018年4月



2説ありますが、私は織田説をとります。

織田武雄『地図の歴史』（講談社）より  
地図の通史としては一番定評のあるもの

地図帳を「アトラス」というのは、メルカトル（1512～1594）の没後、1595年に息子のルモルトによりそれまでに作成された地図を集めた地図帳に、「アトラス」の名があるからである。そのアトラスは、「世界で最初に地球儀を作成したと伝えられているリビアの伝説的な王の名前に由来すると思われる」。



91 メルカトルの地図帳の扉 地図帳の表題として、「アトラスまたは世界の創造と創造された（世界の）姿に関するコスモグラファーの考察」(Atlas sive Cosmographicae meditationes de fabrica mundi et fabricatis figura) と記されている。

また扉の人物像からみて、メルカトルのアトラスの名称は、一般に言われているように、ギリシア神話の天空を支える巨人アトラスに因んで付したのではなく、世界で最初に地球儀を作成したと伝えられるリビアの伝説的な王の名に由来するものと思われる。

### ● 同様の見解（リビアの伝説的な王に由来）

<https://kochizu.gsi.go.jp/items/214>

「世界で最初に天球儀と地球儀を製作したというリビアの伝説的な王の名にちなんでアトラス(地図帳)と名付けられた。」 但し、同サイトでは、その出版年を1585年としている。

### ● ギリシア神話の巨人であるアトラスに由来するという立場

少なくともネットではこちらが多い。

<http://e-zatugaku.com/tiri/atlus.html>

<http://www.hcpc.co.jp/faq/faq007.html>

<https://ameblo.jp/english-worldview/entry-10216048094.html>

<https://goo.gl/EC71y5>

### ● 両論併記

<http://www.ikm-art.jp/digitalmuseum/num/009/0090055.html>